



官民一体となって創りあげる わが街 くまもと

社会福祉法人慶信会 くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター縁 就業支援ワーカー 原田文子

熊本市 健康福祉局 障がい者支援部 障がい保健福祉課 企画調整班 小山恭正

本日の内容

- 自己紹介
- くまもとのチカラ
- 最後に

自己紹介 — 縁 —

- 縁は、「就業・生活支援センター」です
- 「就業・生活支援センター」は、障がいのある方々の『働くこと・暮らすこと』の両面を一体的に応援しています
- そして、『地域のネットワークづくり』にも、取り組んでいます

くまもとのチカラ ーはじまりー

- 平成20年度より始まった、「障害者自立支援協議会・就労部会」が行政機関と、同じテーブルで顔を合わせた初めての機会
- けれど・・・その後、特に大きな連携はなく・・・
- 平成23年度に、当センター長が就労部会の部会長を務めさせていただいたことをきっかけに、当センターが熊本市と一緒に事務局を担当する
- それから、就労部会を通して、熊本市との連携が始まる

くまもとのチカラ ー就労部会ー

- 平成23年度から作業班をつくり、各班のリーダー・サブリーダーを中心に、1年間で達成できる目標を掲げ、成果を残す

《熊本市との協力》

- 「しごといくvol.1～6」の冊子等の予算を調達
- 熊本市のホームページに「部会のホームページ」をリンク
- 熊本市障がい者プラン中間見直しの際に、部会での検討結果を市長へ報告
- 熊本市、はーとアラウンドくまもとと協力し「おとなりマルシェ(販売会)」を開催
- 1年に1度、部会全体の取り組みとして「就労フェア」を開催。その中で、熊本市と協力し「障がい者サポート企業」の表彰式を行う

自己紹介 — 熊本市障がい保健福祉課 —

- 熊本市が行っている就労支援に関する取り組み
 - 1 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会
 - 2 就労継続支援A型事業所サポート事業

1 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会

- (1) 熊本市障がい者自立支援協議会について
- (2) 就労部会について
- (3) 就労部会の班構成・取り組みについて

(1) 熊本市障がい者自立支援協議会とは

本会議 (年4回:5月/8月/11月/2月)

【本会議の機能】

委託相談支援事業者の中立性・公平性の確保のための処遇方策のあり方の協議

地域の関係機関によるネットワークの構築等

各部会の進捗管理・評価(検証)

障害福祉計画策定時の意見聴取

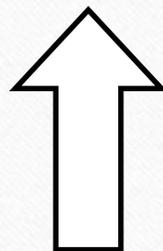
困難事例への対応のあり方の協議

地域の社会資源の点検及び開発

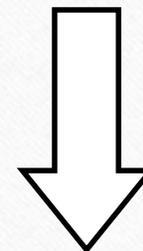
各種施策への提案、提案の施策への反映状況調査

当事者意見の積極的聴取

- 進捗状況の報告
- 困難事例の報告
- 地域的課題の提起(抽出)
- 検討結果の報告 など



運営会議(正副会長・各部長会議)



- 進捗状況の管理・評価
- 困難事例の共有・検討
- 地域的課題の対応策の検討依頼
- 検討結果の報告内容の協議・承認

専門部会 (毎月)

就労部会

子ども部会

相談支援部会

精神障がい者
地域移行支援部会

(2) 就労部会とは

熊本市障がい者自立支援協議会において、『障がい者の「地域で働きたい」を実現させる』ことを目的に平成20年度に設置。

毎月1回、相談支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所(A型・B型)、支援学校、ハローワーク、障害者職業センター、各種専門機関、当事者会、家族会、医療機関、企業などのたくさんの機関が障がいのある方の就労支援について協議等を行っている。

〔設置後の活動(直近3年間)〕

| 年度 | 活動内容 |
|--------|--|
| 平成27年度 | 「しごといくVol.4」作成、企業セミナー開催、一般就労への道筋マップ作成、A型事業所自己評価表作成、内覧会・商談会開催、当事者の夢実現(ネットラジオ放送)、当事者発信の研修会開催、各施設を紹介する「施設プラグ」開設、就労部会の取組紹介ホームページ開設 |
| 平成28年度 | 「しごといくVol.5」作成、就労フェア(企業セミナー、障がい当事者との対話型セミナー等)、障がい者施設商品販売会・商談会開催、熊本市障がい者サポート企業・団体啓発、おでかけフラット(当事者目線での福祉事業所体験・取材)、就労部会ホームページ管理 |
| 平成29年度 | 「しごといくVol.6」作成、就労フェア(企業セミナー、障がい当事者との対話型セミナー等)、障がい者施設商品販売会(おとなりマルシェ)・商談会開催、熊本市障がい者サポート企業・団体啓発、夕方フラット・おでかけフラット(当事者目線での福祉事業所体験・取材)、就労部会周知 |

(3) 就労部会の班構成・取り組み

当事者対話班

- ・ネットラジオ作成
- ・当事者視点の支援利用ガイド(ふくしのしおり)作成
- ・夕方ふらっと(交流会)、おでかけふらっと(福祉事業所巡りと取材)

研修班

- ・ 就労フェアの企画
- ・ 部会内のミニ研修
- ・ 事例検討企画

企業就労班

- ・ 「しごといくVol.7」の制作
- ・ 企業就労を促進するためのツールの作成、啓発活動
- ・ 熊本市障がい者サポート企業・団体の啓発、ネットワーク作り

事業所ネットワーク班

- ・ 防災マニュアルの作成
- ・ 販売会
- ・ 新規事業所のフォローアップ、事例検討

給与工賃うるおい班

- ・ 商品開発
- ・ 障がい者施設商品や役務の広報
- ・ 共同受注のシステム作り
- ・ 障がい者施設商品販売会(おとなりマルシェ)の開催

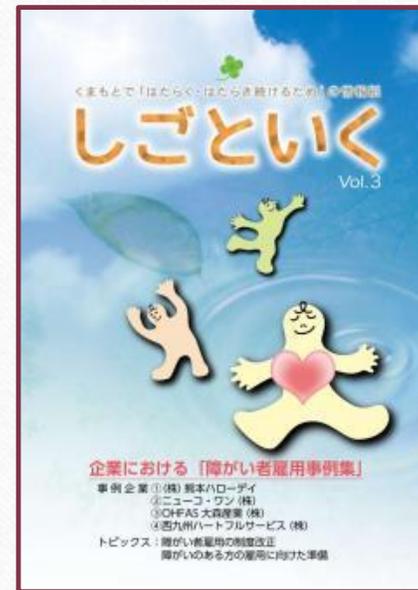
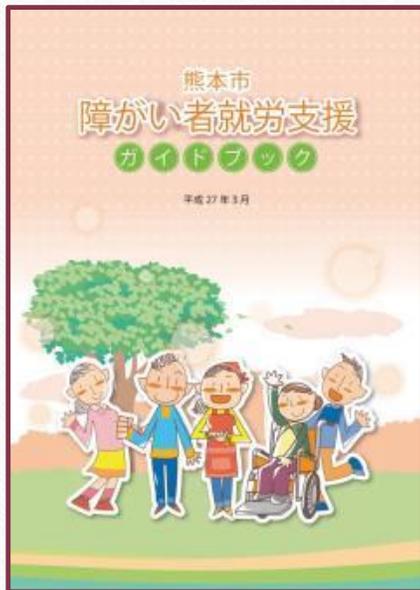
Be助っ人班

- ・ 就労部会のホームページの管理運営・周知活動
- ・ 就労フェアの広報活動

当事者対話班が当事者の視点で各班の活動についてフィードバックを行う

①製作物・施策に関する提案等

- ・ 熊本市障がい者就労支援ガイドブック(H23～27)
- ・ はたらく・はたらきつづけるためのハンドブック(H23) ・しごといく(H24～)
- ・ 熊本市障がい者プラン中間見直しに対する検討結果報告(H26)
- ・ A型事業所までの道のりマップ(H26)
- ・ 施設プラグ(熊本市内の就労系サービス事業所情報)(H27)



②就労フェア

障がい者の就労について考える機会として、研修やセミナー、展示、障がい者サポート企業・団体認定式などを開催。

- 平成27年度のテーマ「障がいと仕事を考える」
- 平成28年度のテーマ「みんなのはたらくカタチ」
- 平成29年度のテーマ「この街ではたらく」
- 平成30年度のテーマ「障がいのある人もない人も、ともにはたらける熊本市へ」

熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会
しゅうろう
就労フェア
障がいともごとを考える

講演会「障がいのある方の企業就労と職場定着
～株式会社総合プラントの取組～」
9:40～11:00

しごとアラブシステム体験 11:00～16:00

障がい福祉サービス事業所とのく結び会議会
11:30～14:30

障がい当事者発信研修会 14:00～16:00

日時：2016年2月23日(火)
9:30～16:00 (9:00～受付)

会場：ウェルパルクまもと
大会議室

参加費：無料
お申込：事務局「緑」まで、FAXをお願いします。
FAX番号：096-288-0501
(事務局：くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター「緑」)

就労フェア 2017も
みんなのはたらく
カタチ

2017年
2.10(金)
10:00～17:15

会場：ウェルパルクまもと
大会議室

おとなりマルシェ (物産会)
企業セミナー
商談会

この街ではたらく 就労フェア 2017
12月8日(金) ウェルパルクまもと 大会議室

10:00 午前中ふらっと
12:30 受付
13:00 開会
13:15 障がい者サポート企業・団体
認定式 表彰式
14:00 展示会・共同受注説明
14:20 障がい者就労セミナー
16:00 閉会

お申込：事前に必要事項をご記入の上
FAXにてお申込ください。

第4回就労フェア —このまちではたらく—
障がいのある人もない人も、
ともにはたらける、熊本市へ

2019年1月18日(金)
10:30～16:30 (受付10:00～)

会場：ウェルパルクまもと大会議室

10:00 受付
10:30 開会あいさつ
10:40 はたらく障がい者の発表
11:10 展示・商談会
12:00 休憩
13:00 企業セミナー
14:40 障がい者サポート企業・団体認定証交付・表彰式
16:30 閉会

2 就労継続支援A型事業所サポート事業

- (1) 障がい者施設商品販売会「おとなりマルシェ」の開催
- (2) 事業所の職員を対象とした研修会の開催
- (3) 広報活動支援

(1) 障がい者施設商品販売会「おとなりマルシェ」の開催

障がい者施設でつくられた商品の展示・販売を行う機会として、市内の繁華街であるびふれす広場で「“つくる・つながる・ひろがる”おとなりマルシェ」を平成28年度からは一とアROUNDくまもとと協力して開催。

販売する商品を介して、障がい者施設の取り組みや、働く障がい者に対する社会の理解を広げ、障がいのある人の自立と社会参加を支援するとともに、商品の販路拡大及び売上増加を図っていく。



※平成28年度は1回開催、平成29年度は5回開催、平成30年度は9回開催予定。

(2) 事業所の職員を対象とした研修会の開催

専門家、又は先駆的な取り組みを行う事業所職員によるセミナーを開催し、施設職員の資質の向上を図るとともに、各施設における自律的な取組を促していく。

※障がい者施設等の商品力向上等支援事業(平成27~29年度)

障がい者施設の商品力を高め、施設の売り上げを伸ばすことで工賃等水準の向上につなげることを目的として、障がい者施設等の商品力向上等に関する研修を開催。

第1回 障がい者施設等の商品力向上等支援事業研修会

日時: 2015年11月3日(火) 14:00-17:00 (受付13:30-)

会場: ウェルバルくまもと 1F 大会議室 (熊本県中央区大江5丁目1-1)

講師: 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU)

内容: 商品力向上の重要性、商品開発のノウハウ、販売戦略の立案、販路拡大の取り組み、商品開発の事例紹介、質疑応答、懇話会

参加費: 無料

申し込み方法: 要紙を FAX、または下記にご連絡ください。

お問い合わせ: TEL: 096-364-5851 FAX: 096-364-5852 (受付 先上)

第2回 障がい者施設等の商品力向上等支援事業研修会

日時: 2015年11月3日(火) 14:00-17:00 (受付13:30-)

会場: ウェルバルくまもと 1F 大会議室 (熊本県中央区大江5丁目1-1)

講師: 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU)

内容: 商品力向上の重要性、商品開発のノウハウ、販売戦略の立案、販路拡大の取り組み、商品開発の事例紹介、質疑応答、懇話会

参加費: 無料

申し込み方法: 要紙を FAX、または下記にご連絡ください。

お問い合わせ: TEL: 096-364-5851 FAX: 096-364-5852 (受付 先上)

第1回 障がい者施設等の商品力向上等支援事業講演会

日時: 2015年11月15日(火) 午後6時30分~午後8時30分

会場: 熊本県立美術館 2F 大会議室 (熊本県中央区大江5丁目1-1)

講師: 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU)

内容: 商品力向上の重要性、商品開発のノウハウ、販売戦略の立案、販路拡大の取り組み、商品開発の事例紹介、質疑応答、懇話会

参加費: 無料

申し込み方法: 要紙を FAX、または下記にご連絡ください。

お問い合わせ: TEL: 096-364-5851 FAX: 096-364-5852 (受付 先上)

第2回 障がい者施設等の商品力向上等支援事業講演会

日時: 2015年11月15日(火) 午後6時30分~午後8時30分

会場: 熊本県立美術館 2F 大会議室 (熊本県中央区大江5丁目1-1)

講師: 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU) / 佐々木 美穂 (UMU)

内容: 商品力向上の重要性、商品開発のノウハウ、販売戦略の立案、販路拡大の取り組み、商品開発の事例紹介、質疑応答、懇話会

参加費: 無料

申し込み方法: 要紙を FAX、または下記にご連絡ください。

お問い合わせ: TEL: 096-364-5851 FAX: 096-364-5852 (受付 先上)

第20回 福祉フェア

日時: 2015年2月2日(金) 午後6時30分~午後8時30分 (受付午後6時~)

会場: ウェルバルくまもと 大会議室 (熊本県中央区大江5丁目1-1)

対象: 福祉会の関係者、福祉会への参加に中心のある福祉事業者など(定員 50人 先着順)

申し込み方法: 要紙を FAX、または下記にご連絡ください。

お問い合わせ: TEL: 096-364-5851 FAX: 096-364-5852 (受付 先上)

主催: 熊本県障がい者施設等の商品力向上等支援事業

(3) 広報活動支援

障がい者施設の商品カタログの製作・配布、HP等による広報活動及び店舗販売、役務のPRを通じて、障がい者に対する理解を深めるための啓発活動を行っている。



障がい者施設の商品カタログ



障がい者施設商品の
アンテナショップ
「UMU(うーむ)」

市役所ロビーでの役務の展示



食品等の箱詰め承ります。

レトルトカレーの辛口と中辛を化粧箱にセットし、ギフト用の詰め合わせを作るお仕事です。

- ① 食品メーカーから送られてきたレトルトカレーは辛口・中辛の種類ごとに数をチェックします。



- ② ギフト用ボックスを組み立てる人、レトルトカレーを詰め合わせる人と、手分けして作業にあたります。



- ③ ギフト用ボックスを閉じる前にはミスがないか必ず二重チェックを行います。



受付先：NPO法人ゆうステーション熊本 ゆうワークス(熊本福祉支援A型/福祉継続支援B型)
 熊本府中央区早成3丁目7-10 TEL:096-285-7931
<https://www.facebook.com/ゆうステーション熊本-802267389766597/>

【はたらく仲間の声】

K・Tさん
 流れ作業なので、声をかけあいながら進めるように心がけています。声かけと同時に周りの人のやり方を見て、「そのやり方がいいな！」と思ったら、まねすることもあります。



やりがいですか？あります。自分でできることを仕事にしてお金をもらっていますから。次回のお給料が出たら、絵が好きなので美術館に行きたいと思っています。

【支援員の声】

黒田 昂平さん
 お仕事をいただいたら、まずはスタッフで完成までの流れを確認し自分たちでやってみます。そして、利用者さんに説明し、利用者さんの意見を取り入れながら実際の作業を進めます。作業にあたり衛生キャップを必ずかぶるようにしていますが、利用者さんから「この作業には手袋が必要です」と言われることもあります。そんなとき自らプロ意識を持って仕事に向き合っていたらいいと感じ、うれしくなります。



くまもとのチカラ ーはーとアラウンドくまもとー

- 利用者の工賃・賃金アップや障がい者の社会参加を促進することを目指す、福祉事業所の団体
- 共同受注や共同商品開発・販売等の活動に取り組んでいる

《熊本市と協力》

- 「おとなりマルシェ」を開催

くまもとのチカラ —A型ミーティング—

- はじまりは、A型事業所を愛する施設長の思いから！
- 就労部会で、活動班をつくるが継続できず・・・
- あきらめきれない施設長から、ささやかれる・・・「A型事業所の集まる機会を作りたい」
- 平成28年11月・第1回の「AMT」を開催。15事業所・21名の参加者とお互いの事業所を知ることから始まる
- 現在、3ヶ月に1度、区ごとに開催を担当し、継続中。

くまもとのチカラ —A型ミーティング—

《熊本市との協力》

- 第3回目から、熊本市が参加。よりよいA型事業所について、行政機関とともに考える
- 熊本市役所の場所を借りながら、意見交換会や勉強会をしている
- 意見交換で出された事業所の希望を実現（展示会の開催）
- 懇親会も一緒に♪

くまもとのチカラ —まだまだあります—

- KP5000 (くまもと5000プロジェクト) の活動
 - ・福祉に関する情報の集約と発信等をしている
- 《熊本市との協力》
- ・有志の活動を、熊本市がバックアップ！
 - ・各部会や区役所との橋渡しをしていただく

- 余暇活動

フットサルや野球、サイクリングなど、仕事以外でも、一緒に楽しむ♪



これからの希望

- あの人がいなくなっても、続けられるかな・・・
- そんな不安がなくなるように、思い描く自分たちのまちを、共有していきたい
- 立場が違おうと、想いも違おうかもしれませんが、まずは、話し合える関係作りから！

秘訣（事業所側の視点）

- まずは、予算がなくても、自分たちで、やりたいことは、できることからやる。それを、行政機関に認めてもらう！
- 自分たちがやりたいことを訴えるだけでなく、行政機関のやりたいことにも、耳を傾けて一緒にできることはないかを考える！

秘訣（行政側の視点）

- 限られた予算の中で、最大の効果を出すために、事業所のみなさんの声に耳を傾けて、何が必要なのか、何ができるのかを 一緒に考えること。（双方向の意見交換が大事）
- 事業所のみなさんと考えたことに対しては、一緒に協力しながら実行に移すこと。

熊本から、みなさんへ♪

いま 一緒に 仕事ができている人との出会い
『奇跡だなあ』と 感謝しています。

その人と 今しかできないこと が きっとあります。

まずは 語り合うことから 始めてみませんか(^^) /



ご清聴ありがとうございました(^-^)